

野菜だより(4) 光環境を変えて野菜づくり

- 綾部研究拠点 -

野菜に限らず植物は、太陽の光を使って成育します。このうち紫外線を、植物は成育調節には使いますが光合成には利用できません。しかし、最近、紫外線があたるとその紫外線を赤色の光に変える被覆資材が開発されました。これを使うと、紫外線を一部光合成に利用できるようになり、また初夏や夏の強すぎる光を和らげ、さらに紫外線カットフィルムのような防虫効果が期待できます。綾部研究拠点ではこの被覆資材による野菜の成育促進や虫害抑制の効果をみているところです。まだ試作品段階なので、効果の安定性や持久性がわからないところがあり、基礎的な特性を調べて、有効な利用場面や資材の問題点などを明らかにします。



ネギ()とホウレンソウ()
の成育の様子

両野菜とも、左は通常の透明資材、右は光
質変換資材を使った雨よけ被覆下で成育



光質変換資材
資材メーカー供与の試作品

